

南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施します（報道公開）

名古屋高速道路公社は、南海トラフ地震を想定し、被災時における対応力の強化を目的として、以下のとおり防災訓練を実施します。



《ジャッキによる放置車両移動》



《軽量スロープによる段差応急復旧》

1. 日 時

令和4年8月26日（金） 10:00～11:00

2. 場 所

名古屋高速道路公社 船見基地（名古屋市港区船見町1番地の128）

3. 訓練上の想定及び訓練概要

南海トラフ地震が発生し、高速道路の損傷（路面の段差）により、通行出来ない車両が放置されている状況を想定します。

訓練は職員及び維持業者等が特殊な資機材を使用して、放置車両の移動及び伸縮装置部に生じた段差等を解消し、緊急車両の通行ルートを早期に確保するまでの応急復旧作業を実施します。[詳細は裏面参照]

4. 訓練参加機関

名古屋高速道路公社、名古屋高速道路協会、土木維持業者

5. その他

実働訓練の当日取材をご希望の方は、8月25日（木）15時までに広報課（TEL：052-919-3236）までご連絡ください。

なお、災害対策本部運営訓練（図上訓練）は、新型コロナウイルス感染症対策のため密を避けた人員で、26日午後に非公開で実施いたします。

防災訓練の概要

訓練内容

ジャッキによる放置車両移動

放置車両が緊急車両の通行を妨げている状況を想定し、これを解消するために限られたスペース内で作業をすることができる特殊なジャッキを使用します。

各タイヤに1台ずつジャッキを設置し車体を路面から浮かせ、車両を人力で移動させます。



《ジャッキ（機械式）》



《ジャッキ設置》



《車両移動（R3年度）》

○重量：約 20 kg/台 ○対応可能車両：約 3 t 車まで

軽量スロープによる段差応急復旧

桁と桁の間には伸縮装置がありますが、伸縮装置部に生じた段差・開きにより車両が通行できない状況を想定し、これを解消するため、“人力で速やかに運搬・設置が可能”な軽量渡し板、軽量スロープを使用します。

＜軽量渡し板＞



《設置状況》

- 重さ
約 30kg/枚
- 規格
FRP 製（せん維強化プラスチック）
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

＜軽量スロープ（EPS スロープ）＞



《設置状況》

- 重さ
約 30 kg/部材
- 規格
発砲ポリスチレン
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

